発行／阿波市議会　編集／議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750　FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス http://www.city.awa.lg.jp/gikai/

令和３年第１回 阿波市議会定例会の概要

第１回定例会は、２月15日から３月10日までの24日間の会期で開かれました。

開会日には藤井市長から、令和３年度当初予算について、安全・安心のまちづくり、活力あふれるまちづくり、子育て応援のまちづくりの三本の柱を一層推進するための予算編成であると説明がありました。主な事業として、新型コロナウイルスのワクチン接種事業、市営住宅跡地を利用した分譲地の整備、デマンド型乗合交通の本格運行、スマートインターチェンジの早期の供用開始に向けた取組、子育て支援アプリ「母子モ」の導入などがあるとの説明がありました。

そのあと、令和２年度一般会計補正予算などについて概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問では、11人が市政全般について考えを問い、財政、防災対策、環境、教育、福祉、農業振興、建設関係などについて議論しました。３月３日に総務、４日に文教厚生、５日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決し、追加議案として、議員発議による阿波市議会会議規則の一部を改正する規則が提出され、可決しました。また、監査委員の選任と人事案件２件が提出されいずれも同意しました。

その後、副議長の辞職に伴う選挙が行われ新副議長に笠井安之議員が就任しました。

令和３年第１回 阿波市議会臨時会の概要

第１回臨時会は、５月13日に開かれ藤井市長が二期目の目標として、未来を見据えた阿波市の発展を目指し、市民の方々と一体になって邁進すると述べました。続いて、令和３年度阿波市一般会計補正予算などの市長提出議案の概要と提案理由の説明があり、いずれも可決、承認されました。また、副市長の選任があり同意されました。

訃報　樫原賢二議員逝去

５月７日、樫原賢二議員がご逝去されました。

樫原賢二議員の生前のご活躍をしのび、謹んで哀悼の意をささげるとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

代表質問

武澤　豪　議員（志政クラブ）

問　コロナウイルスワクチン接種スケジュール、対象年齢を教えてほしい。

答　接種券を75歳以上の方、続いて65歳から75歳未満の高齢者に３月下旬より発送後、接種予約をしてもらい、４月中旬以降の接種開始を予定している。基礎疾患を有する方、64歳以下の方については４月以降に発送予定としている。

問　ワクチン接種会場はどこを予定しているか。

答　阿波市医師会と調整を行っているため決まっていないが、地域医療機関での接種の調整を図りたい。

問　ワクチン接種をスムーズに行うためにどのような準備を行っているか。

答　２月下旬をめどにワクチン接種実施計画を策定する予定。できる限り効率よく接種できる体制を構築していきたい。

問　スマートインターチェンジの現在までの状況は。

答　令和元年11月に本市と徳島県及び西日本高速道路（株）四国支社の３者による相互協定を締結、その後、事業説明会、測量説明会を行い、令和２年12月には測量業務の一部が終了している。

問　スマートインターの今後のスケジュールは。

答　令和３年度は実施設計を進めながら、地権者や関係者に立会いただき、用地に係る業務を進めていく。

問　交付税減少に対して、ふるさと納税に力を入れてはどうか。

答　ふるさと納税は令和元年度には平成27年度より約25倍の件数で５、167件、金額は23倍で約６、818万円となっている。今後も返礼品の充実や情報発信など積極的な取り組みを推進し、企業版ふるさと納税にも取り組む。

川人　敏男　議員（阿波みらい）

問　二期目を目指す藤井市長がマニフェストを発行したが、新しいごみ処理施設の建設はどこにも記載されていない。全力を挙げて取り組む決意があるのか伝わってこないことを指摘して質問する。学校のデジタル化も動き出すが、教員の指導力向上にどのように取り組むのか。

答　教員が子どもたち全員の意見や学習の理解度を確認しながら自主的に学習する力を身につけさせることが求められる。新年度からＩＣＴ支援員を各中学校区に１名ずつ配置するなど、教員の指導力向上に努める。

問　ワクチン接種を希望しない市民に、どのような対応をするのか。

答　本人の意思によりワクチンの接種を希望するか、しないか判断する。効果や安全性の正確な情報を周知し、できるだけ接種を促していく。

問　情報化時代が本格化しているにも関わらず情報技術者の確保を怠っている。能力給を加味したジョブ型雇用を取り入れてはいかがか。

答　年間をとおして業務量があるか、ないかの課題がある。専門性の必要な分野は、ジョブ型雇用を含め、人材確保に尽力する。

笠井　安之　議員（はばたき）

問　市長は４年間の市政運営についての成果と手応えをどのように捉えているのか。

答　市長就任以来、安全・安心のまちづくり、活力あふれるまちづくり、子育て応援のまちづくりの３つの柱を基本として政策立案し、市政運営を行ってきた。日々市民と阿波市のため、輝くまちづくりをすすめてきた。万事が万事とは言えないが手応えは感じている。

問　新型コロナウイルスワクチンの接種について。

答　国から示された優先順位を踏まえ、令和４年３月31日時点での満年齢に基づき75歳以上の方から順次実施する。実施場所などは、阿波市医師会と十分な協議を図りスムーズな接種が行えるよう取り組んでいく。

問　ＰＣＲ検査の実施費用を市が負担してはどうか。

答　濃厚接触者や高熱・息苦しさ、強い倦怠感の症状があり、かかりつけ医や受診相談センターに相談した方については、指定医療機関でＰＣＲ検査を自己負担なしで受けることができるが、本市としては費用負担を行っていない。まずはワクチン接種を優先にすべきと考える。

問　ため池の耐震診断の実施状況はどうなっているのか。

答　市内72か所のため池のうち35か所の耐震診断が完了しており、残りのため池についても早急に耐震診断を実施するよう徳島県に要望していく。

樫原　伸　議員（阿波清風会）

問　新型コロナウイルスワクチン接種に係る正しい知識、安全性・有益性の周知をどのように図っていくのか。また、障がい者、独居老人への接種対応は。

答　３月中旬をめどにホームページ、ＡＣＮでの動画放送などで周知を図っていく。障がい者や一人暮らしの高齢者への接種対応については現在検討を進めている。今後、阿波市医師会や市地域包括支援センター、市社会福祉協議会などと連携を図り取り組んでいく。

問　消防団員の処遇改善について。

答　国や県、消防協会と連携し、団員の加入促進と装備品などの充実に取り組んでいるところである。本市消防団員数は県内トップクラスの充足率となっている。

問　阿波市の農業振興に関し、水田農業の所得増大への取り組みについて。

答　各農家が積極的な経営革新を図ることが重要であり、米作から高収益作物などへの転換を促す直接支払い交付金をはじめ国の経営所得安定対策事業を継続的に推進している。平成30年に策定した「第二次阿波市農業振興計画」では地域の特性を生かした農産物の生産や農用地の保全、農業生産基盤の整備などを基本方針とし、農業所得の向上を目指した支援策を講じている。

一般質問

吉田　稔　議員（無所属）

問　農業の担い手育成や農業生産を効率的に行うためにほ場整備は欠かせない。全て公費でまかなえる農地整備事業がある。どのような内容か。また、農家や土地改良区等の関係団体に周知や啓発をしてはどうか。

答　事業対象農地の全てを農地中間管理機構に15年以上貸し出す等いくつかの条件がある。ほ場整備事業は大変重要な事業と認識しておりＡＣＮ等を利用し、農家や関係者への周知に努める。

問　小中学校でのギガスクール構想の準備も進んでいるようだが家庭でのインターネットの月額使用料の負担軽減はされるのか。

答　要保護世帯については負担軽減を講じたい。

問　コロナ禍における市民の命と暮らしを守るため社会福祉協議会の融資制度は活用されているのか。

答　社会福祉協議会を窓口とした生活福祉資金貸付制度の令和２年12月末現在相談件数は５百件近くあり対応している。

問　家庭での生ごみ処理を進めるコンポスト配布事業が好評であるが今後の方針は。

答　ごみの減量化、循環型社会の構築のため今後も継続したい。

坂東　重夫　議員（はばたき）

問　指定管理者制度並びに民間活力の導入について。

答　本市は、平成18年４月から指定管理者制度を導入しており、現在ＡＣＮやアエルワをはじめ、阿波市立図書館等67施設で制度を活用している。民間活力の導入は、民間経営の４か所の認定こども園、また、水道の窓口・受付業務等を平成26年１月より外部委託している。今後、数ある公共施設等の最適配置にも配慮し、市議会、また関係する市民の皆様の声を聞きながら、新たな指定管理者制度や民間活力の導入を着実に推進していく。

問　平成の大合併について。

答　合併後、普通交付税の合併算定替えや合併特例債など手厚い財政支援を有効利用しながら様々な施策に取り組んできた。取り組んできた事務事業については、必要性、有効性など複数回評価を行い、行政評価として公表しているほか、外部評価を行い、次年度以降の事務事業、また当初予算編成に反映させている。財政指標（実質公債費比率等）の悪化の兆候や少子高齢化、人口減少、新型コロナウイルス感染症による税収の減収など課題は山積みしている。ふるさと納税の活用など自主財源の確保を図り、不要不急の事業見直しを行うなど慎重な財政運営に努める。

問　市民への検証結果を公表してはどうか。

答　検証結果については、内部で活用することはもとより、市民の皆様に周知するものについては、わかりやすく整理するなど、市町村合併の検証に取り組んでいく。

北上　正弘　議員（公明党）

問　市内外への更なる情報発信の方法について。現在の伝達手段の課題と対応策は。

答　ケーブルテレビ、音声告知器、市のホームページ等や紙媒体では広報阿波を発行し全家庭に配布している。課題と対応策として、ＳＮＳを活用しセキュリティを確保、地域の情報共有コミュニティーを活性化することで双方向性を生かすことも重要と考える。

問　デジタル庁創設にあたり本市の準備について。

答　５ＧやＩＣＴ技術等を活用し担当部署等の検討や分野に秀でた職員の確保が必要。スピード感を持って準備していきたい。

問　教育振興計画について、第１次教育振興計画の検証及び成果は。

答　７つの教育と32の推進施策を定め10年間取り組んできた。一定以上の成果が得られたと評価している。

問　第２次教育振興計画について。

答　第１次の成果と課題を踏まえ未来を担う人材を育成するため講ずべき施策を検討。子育てするなら阿波市のキャッチフレーズのもと、学び合う深め合う高め合う阿波市教育を目指す。第２次教育振興計画に基づき、未来の阿波市を担う人づくりを推進していく。

藤本　功男　議員
（はばたき）

問　若い女性の流出（人口減）を、どのようにとらえているのか。

答　本市の20歳から39歳までの若年女性人口は、減少率０・57％で、県内24市町村で13番目である。今後、若者の定住や転出後のＵターンにつながる取組を強化していきたい。

問　女性が活躍できる多様性のあるまちづくりを、どのようにすすめていくのか。

答　ダイバーシティの実現を目指し、活気あふれる温もりある地域をつくるため、一人ひとりが個性と多様性を尊重され、生きがいを感じながら暮らすことのできる地域コミュニティの実現を図っていきたい。

問　阿波市の移住・定住の現状はどうなっているのか。

答　ここ十数年で40件を超える空き家が有効活用されている。移住者は、28年度の49名から令和元年度１３２名に増加した。

問　移住・定住のニーズに応える受け皿づくりをどのように進めていくのか。

答　住居、就労、就学、地域との交流など、検討段階から移住後のフォローアップを行う阿波市移住交流支援センターを設置している。また、生活情報ガイドブックで生活に必要な情報を提供している。今後、新たなプロジェクトチームを立ち上げ、移住・定住施策に取り組んでいきたい。

問　関係人口の拡大に向けて、どのような戦略を描いているのか。

答　地域の課題解決や地域の人々と多様にかかわる関係人口の拡大に向けて、若者のインターンシップの受入れ、地元企業・地域団体との交流、小学校でのふるさと教育などに取り組みたい。また、ふるさと納税制度や特産品認証制度などのＰＲを通じて、関係人口の拡大を図りたい。

後藤　修　議員
（はばたき）

問　公共交通の実証実験の実績と４月の本格運行に向けての変更点について。

答　令和２年11月、12月の２か月は40人を超える方の利用をいただいている。改善する内容としては、利用料金面では割引料金を５００円から３００円に適用する範囲を見直し、18歳到達後、最初の３月31日まで及び障がい者の割引を受ける方の同伴者に、割引料金を適用する予定としている。運行面では、８時台を増便し、７時台は通学優先だが、利用の多い乗降場所に限って利用できるよう変更する予定としている。

問　再任用職員と会計年度職員の違いと再任用職員の任用の在り方について。

答　再任用職員とは、定年退職者等を、勤務実績等に基づく選考により、任期を定め、短時間勤務または常時勤務を要する職であり、会計年度任用職員とは、一般職の非常勤職員である。再任用職員の配置については、在職時の知識、経験、技能などが必要とされる職場に配置している。

問　中のごみ袋の価格見直しについて。

答　他の自治体の状況も勘案しつつ検討する。

木村　松雄　議員
（志政クラブ）

問　市道矢松田中線改良工事の進捗状況と今後の計画は。

答　本事業は平成30年度より測量設計業務に着手し、施行延長８６０ｍ、車道部は片側１車線の２車線で復員７ｍ、東側に３・５ｍの歩道を設置する。現在はほぼ全工区の境界立会を終え用地取得を進めており、５０ｍについては工事発注している。今年度については当初予算で９、５００万円の予算を計上している。完成時期としては令和５年度末を目標としている。

問　水道施設、土成連絡送水管布設工事について、進捗状況と今後の計画は。

答　土成連絡送水管の昨年度末での進捗率は約92％で、これまで約６億円の事業を実施し令和２年度末の完成に向け、県と協議を重ね、取組を進めている。土成町への１００％送水については令和８年度を想定している。

問　公有財産の利用について、旧北二条住宅跡地整備の内容は。

答　この事業は未利用の私有地を有効活用し、誘致企業で勤務する方やＵＩＪターン者、新婚世帯など、移住・定住の促進を図るため、優良な宅地を提供するものです。現在の北二条団地のある北側の未利用市有地で約１、８５０㎡を整備し、５区画を予定している。

問　人口減少対策の取り組みについて。

答　18歳までの医療費無償化、第２子以降の保育料無償化、認定こども園の整備等教育分野での施策が高い評価をいただいている。

中野　厚志　議員
（日本共産党）

問　新型コロナウイルスのワクチン接種の予算について。

答　今回のワクチン接種の予算は、補正予算額６、３９０万円で、全額国の補助金であり、主に接種体制の構築に要する経費となっている。具体的には、システム改修費、接種券に係る作成、印刷、郵送費。相談、予約を行う「コールセンター」設置費。接種に係る医療材料費、接種会場での保管用冷蔵庫購入費。ワクチン配送費などとなっている。

問　生活保護申請から受給までの流れについて。

答　相談・申請の窓口は阿波市福祉事務所としての阿波市役所社会福祉課であるが、必要に応じて、生活保護担当職員が相談、申請者の自宅や入所先、入院先等を訪問する。申請者の保護申請の意思が確認できた場合は、世帯単位で申請を受理し、その後、生活保護制度の仕組みや社会保障制度の活用の説明を行い、世帯の収入、資産、扶養義務者等の各種調査を行う。調査の結果、世帯の収入と厚生労働大臣の定める基準で計算される最低生活費を比較して、収入が最低生活費に満たない場合に、生活保護が適用される。生活保護受給については、特別な理由がない限り、２週間以内に保護の要否を福祉事務所長が決定する。

問　吉野川市の「粗大ごみ処理方式（無料）」を阿波市民の便益性の観点から採用する意思はないのか。

答　家庭系ゴミなどの減量方法の一つの手段である有料化は、排出するゴミの量に応じて手数料を負担することにより、費用負担の公平性を確保する。また、市民一人ひとりの方が環境に対する意識を持っていただくことが、ゴミ排出規制や資源再生利用の推進につながるものであり、現在の所、本市の粗大ゴミ処理方式は変更を行わない。

議会だより編集雑感

令和３年第１回定例会を終え私たち阿波市議会議員の任期も残すところ１年となりました。市民の皆様の付託に一つでも多く応えていくため、この３年間日々努力を重ねて参りました。

特に、昨年１年は新型コロナウイルス対策に行政とともに取り組み、市民の「安心・安全」の確保と「市民生活の安定」のため努力して参りました。

新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されたとはいえ、収束の兆しがまだ見えてはきませんが、阿波市民をはじめ世界中の人々が安心して笑顔で暮らせる日々が早く訪れることを心から願いたいと思います。

（笠井安之）

議案番号及び議決結果一覧表

令和３年第１回阿波市議会定例会（２月15日～３月10日）

議決結果	議案名	議案番号
議案第１号	令和２年度阿波市一般会計補正予算(第９号)について	原案可決
議案第２号	令和２年度阿波市一般会計補正予算(第10号)について	原案可決
議案第３号	令和２年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第３号)について	原案可決
議案第４号	令和２年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第２号)について	原案可決
議案第５号	令和３年度阿波市一般会計予算について	原案可決
議案第６号	令和３年度阿波市御所財産区特別会計予算について	原案可決
議案第７号	令和３年度阿波市国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第８号	令和３年度阿波市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第９号	令和３年度阿波市農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第10号	令和３年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決
議案第11号	令和３年度阿波市介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第12号	令和３年度阿波市水道事業会計予算について	原案可決
議案第13号	阿波市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	原案可決
議案第14号	阿波市住民集会施設設置条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	阿波市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	阿波市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	阿波市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	阿波市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	阿波市立幼保連携型大俣認定こども園の開園等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第20号	阿波市農業構造改善センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第21号	阿波市公民館条例の一部改正について	原案可決
議案第22号	阿波早田老人憩の家の指定管理者の指定について	原案可決
議案第23号	市場地区集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第24号	市場流地区集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第25号	市場香美住民集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第26号	市場伊月集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第27号	市場北渕集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第28号	市場西尾開集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第29号	市場中央第１集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第30号	市場西ノ岡集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第31号	市場田渕集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第32号	市場善入寺南集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第33号	市場北原集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第34号	市場遠光集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第35号	市場興崎町筋集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第36号	市場中南大北集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第37号	市場定松集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第38号	市場奥日開谷集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第39号	市場三共集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第40号	市場新女寺集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第41号	土成出口多目的研修集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第42号	土成旭多目的研修集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第43号	土成同志多目的研修集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第44号	土成緑集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第45号	土成桜多目的研修集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第46号	土成藤原多目的研修施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第47号	土成郡農村集落多目的共同利用施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第48号	土成下藤原農事集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第49号	岩野飲料水供給施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第50号	川原芝飲料水供給施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第51号	平間飲料水供給施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第52号	大久保飲料水供給施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第53号	市場伊月大型共同作業場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第54号	市場錦鯉流通市場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第55号	市場大影農業構造改善センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第56号	市場開ノ口農業構造改善センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第57号	市場切幡農業構造改善センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第58号	市場山野上農業構造改善センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第59号	阿波一徳構造改善センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第60号	阿波北部集落センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第61号	吉野中央農業担い手センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第62号	土成宮川内構造改善センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第63号	あわ北「新市まちづくり計画」の変更について	原案可決
議案第64号	阿波市道路線の認定について	原案可決
議案第65号	阿波市道路線の変更について	原案可決
議案第66号	阿北環境整備組合からの吉野川市の脱退に伴う財産処分について	原案可決
報告第１号	債権の放棄について	—
議案第67号	令和２年度阿波市一般会計補正予算(第11号)について	原案可決
議案第68号	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
発委第１号	阿波市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
議案第69号	監査委員の選任について	同　意
諮問第１号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適　任
諮問第２号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適　任
—	副議長選挙について	選　挙
—	徳島中央広域連合議会の議員選出について	選　挙

令和３年第１回阿波市議会臨時会（５月13日）

議決結果	議案名	議案番号
議案第70号	令和３年度阿波市一般会計補正予算(第１号)について	原案可決
議案第71号	阿波市住民集会施設設置条例の一部改正について	原案可決
議案第72号	土成小学校校舎大規模改修その他工事請負契約の締結について	原案可決
承認第１号	専決処分の承認を求めることについて（令和２年度阿波市一般会計補正予算(第12号)について）	承　認
承認第２号	専決処分の承認を求めることについて（令和２年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第４号)について）	承　認
承認第３号	専決処分の承認を求めることについて（令和２年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第１号)について）	承　認
承認第４号	専決処分の承認を求めることについて（令和２年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第３号)について）	承　認
承認第５号	専決処分の承認を求めることについて（令和２年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第２号)について）	承　認
承認第６号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について）	承　認
承認第７号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市税条例等の一部改正について）	承　認
承認第８号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市国民健康保険税条例の一部改正について）	承　認
承認第９号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市介護保険条例の一部改正について）	承　認
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について）	承　認
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について）	承　認
承認第12号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について）	承　認
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて（阿波市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について）	承　認
議案第73号	副市長の選任について	同　意
—	徳島県後期高齢者医療広域連合議員の選出について	選　挙

UD FONT by MORISAWA 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。